

# 第5回 婚礼に関するアンケート調査

一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会

# はじめに

結婚する二人に対して周囲が種々の形で祝福することは自然な感情、行為であり、その一つとして、かつては新婚生活で必要となる品物などを贈ることが一般的でしたが、現在ではお祝いとして《現金を贈る》ことが主流となっています。それでも陰陽五行説の影響なのか、ハレの場に現金を包む場合は陽数（奇数）にするべきで、但し9だけは“苦”に通じるから避けるものである等々、さまざまな習俗が色濃く残っているようです。

一方、贈る際の金額の多寡ですが、贈る人と贈られる人との関係によりそれぞれ異なってくるのは当然とはいえ、具体的にはどれ位の金額が相応なのかということが多くの人々の関心になっているのも事実です。また、同じ立場であっても地域によって金額に差があるのだろうか、ということも大きな問題と考えられます。

当協会には、割賦販売法に基づいて経済産業大臣から営業を許可された「冠婚葬祭互助会」事業者約213社が加盟しており、加入者及び各地域の消費者の皆様方より“結婚式”に利用して頂く施設として、北海道から沖縄に至るまで、結婚式場、ホテル、チャペルなどを保有しています。

そこで、当協会では、傘下の結婚式場で行われた結婚式・披露宴のご参列者、ご出席者の皆様方をお願いをして、平成9年度より5年毎に「祝儀」についてのアンケート調査を行うことにしており、このほど第5回目の調査として平成29年度分をまとめることが出来ました。

本調査が皆様方の儀式を取り巻く生活の中においてお役に立てば幸いです。

一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会  
広報・渉外委員会

## I. 調査概要

- (1) 調査目的 国民の儀式生活に関する意識調査、基礎資料の収集
- (2) 調査対象 全互協に加盟する冠婚葬祭互助会が直営する施設で行われた披露宴の出席者
- (3) 調査方法 披露宴会場において、出席者にアンケート票を配布
- (4) 調査期間 平成29年10月1日～平成30年3月31日
- (5) 配布部数 80,000部
- (6) 回答数 3,017件（回収率:3.8%）

### 配布したアンケート票の内容

#### 『アンケート調査』ご協力をお願い

私どもは昭和48年、利益を目的としない公益法人として経済産業大臣の認可の基に設立された全国的な組織を持つ団体で各地の冠婚葬祭互助会事業者によって構成されています。

当協会の事業内容は消費者保護体制の整備、加盟業者の指導育成、行政への協力等多岐にわたっておりますが、その一環として「国民の儀式生活に関する基礎資料の収集」を挙げており、今年度は別記のように婚礼に関するアンケート調査をする事といたしました。本調査は平成9年より5年おきに実施しており、今回で5回目の調査となるものです。

つきましては、ご多忙のところ勝手なお願いで大変恐縮ですが、別記項目にご回答のうえ、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

※ご回答はアンケート調査以外には使用いたしません  
※お手数ですが平成30年3月末日までにご投函下さい

なお、ご協力を賜りました調査結果につきましては、平成30年より集計を行い、同年8月頃、全国各地の消費者センター及び行政の消費者相談窓口やマスコミ諸機関等に報告書を送付して発表する予定としています。

平成29年10月

一般社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会  
〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-12 COMS虎ノ門6F  
TEL : 03-3596-0061 (代)

#### 平成29年度 婚礼に関するアンケート

該当するところを○印で囲み、空欄には回答をご記入下さい。

- ①あなたは、新郎のご関係ですか？ 新婦のご関係ですか？  
A. 新郎 B. 新婦 C. 両方
  - ②あなたは、新郎又は新婦の何にあたりますか？  
A. 兄弟/姉妹 B. おじ/おば C. 従兄弟/従姉妹  
D. 上記以外の親戚 E. 職場の上司 F. 職場の同僚  
G. 職場の部下 H. 取引先 I. 友人 J. その他
  - ③今回、あなたが贈った「祝儀」はいくらですか？  
A. \_\_\_\_\_円
  - ④あなたは六曜（大安・友引・仏滅など）を気にしていますか？  
A. 気にする B. あまり気にしない C. 全く気にしない
  - ⑤あなたが希望する挙式形態は何ですか？  
（既婚の方も現在の希望をお願い致します）  
A. 神前式 B. チャペル（キリスト教）式 C. 無宗教式  
D. その他
  - ⑥あなたは、この1年間で何回挙式もしくは披露宴に参列されましたか？  
A. 1回 B. 2回 C. 3回以上
- ご回答を頂きました「あなた」についてお尋ねします。
- 性別 \_\_\_\_\_ 男性 ・ 女性
  - お歳 \_\_\_\_\_ 20代・30代・40代・50代・60代以上
  - 結婚 \_\_\_\_\_ 既婚/子供あり 既婚/子供なし 未婚
  - お住まいの地区 \_\_\_\_\_
- 都道 \_\_\_\_\_ 市区  
府県 \_\_\_\_\_ 町村

ご協力ありがとうございました。

## II. 調査対象者

冠婚葬祭に伴う儀式は、昔から地域のしきたりや慣習によって他の地域では見られない特色を育みながら受け継がれていきます。そうした背景から、地域性は、祝儀の決定に大きく関わっていると考えることができます。また、人は人生経験を積み重ねていくとともに、人間関係もより広くより深くなることが考えられますから、日頃のお付き合いや親しさの度合い、年齢なども祝儀の金額を決める重要な要素と言えます。

本調査は、地域や新郎新婦との関係、年齢などの視点から、祝儀の金額を集計することを試みています。

### ◆回答者の地域別内訳

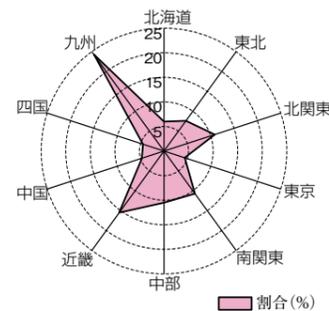
全互協に加盟する互助会の結婚式場にアンケート票を送付し、新郎新婦の許可を得た披露宴会場で出席者にアンケート票を配布したところ、得られた有効回答は 3,017件でした。その有効回答を地域別にまとめると、内訳は次のとおりです。この報告書では、アンケートの集計結果から地域性を出せるよう予め10の地域に分けて集計しています。

【地域別回答件数割合】

北海道ブロック		計	東北ブロック		計	北関東ブロック		計	東京ブロック		計	南関東ブロック		計	合計
北海道	185		青森県	9	茨城県	8	東京都	138	神奈川県	241		静岡県	96		
			岩手県	31	栃木県	66	山梨県	5							
			宮城県	72	群馬県	28									
			秋田県	24	埼玉県	102									
			山形県	33	千葉県	25									
			福島県	56	新潟県	104									
					長野県	21									
計	185			225		346		143		337					
中部ブロック		計	近畿ブロック		計	中国ブロック		計	四国ブロック		計	九州ブロック		計	
愛知県	83		大阪府	122	鳥取県	16	徳島県	4	福岡県	262					
三重県	156		兵庫県	163	島根県	6	愛媛県	46	佐賀県	66					
岐阜県	44		京都府	16	岡山県	11	香川県	29	長崎県	54					
富山県	6		福井県	54	広島県	21	高知県	40	熊本県	239					
石川県	25		和歌山県	30	山口県	94			大分県	65					
			滋賀県	60					宮崎県	5					
			奈良県	17					鹿児島県	44					
									沖縄県	4					
計	313			462		148		119		739				3,017	

### ◆地域別回答件数割合

地域名	割合(%)	地域名	割合(%)
北海道	6.1	中部	10.4
東北	7.5	近畿	15.3
北関東	11.5	中国	4.9
東京	4.7	四国	4.0
南関東	11.1	九州	24.5



### ◆新郎新婦との関係別回答数

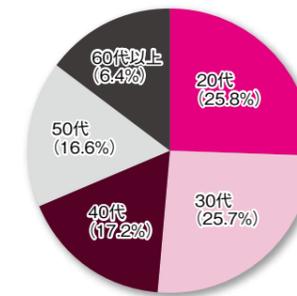
全回答を新郎新婦との関係別にまとめると、回答数は次のとおりです。

新郎新婦との関係	回答数(人)	割合(%)	新郎新婦との関係	回答数(人)	割合(%)
兄弟姉妹	185	6.1	勤務先の部下	120	4.0
叔父・叔母	488	16.2	取引先関係	27	0.9
従兄弟・従姉妹	198	6.6	友人	1,066	35.3
その他親戚	157	5.2	その他	150	5.0
勤務先の上司	227	7.5			
勤務先の同僚	399	13.2	合計	3,017	100.0

### ◆回答者の年齢構成

回答者の年齢構成を把握するため、アンケート中、年齢に関する設問を設け、各世代別ごとにまとめて集計しています。各世代別の回答数は、次のとおりです。

回答者の年齢構成割合

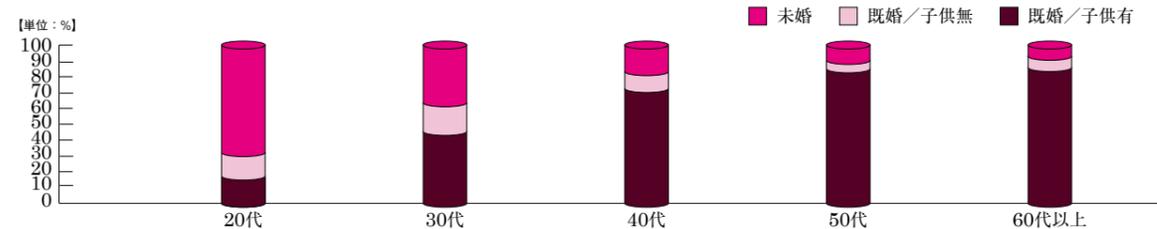


年代	回答数(件)
20代	777
30代	778
40代	518
50代	500
60代以上	444
計	3,017

また、世代別に分類した回答を「既婚/子供有」、「既婚/子供無」、「未婚」にまとめると、次のようになります。20代は未婚者が中心です。30代は未婚者のほうが少ないのですが、結婚して子供を持つ人の割合も多くなっています。また、子供のいない既婚者は20代・30代が多いというデータとなりました。

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
既婚/子供有	139	353	374	433	398	1,697
既婚/子供無	105	144	56	28	18	351
未婚	533	281	88	39	28	969
計	777	778	518	500	444	3,017

### 各世代別の回答者の既婚・未婚割合



## ◎前回の調査(第4回祝儀に関するアンケート調査)について

### 1. 前回調査の概要

- 調査目的 国民の祝儀生活に関する意識調査、基礎資料の収集
- 調査対象 全互協に加盟する互助会の式場で行われた披露宴の出席者
- 調査方法 披露宴会場の受付時にアンケート票を配布
- 調査期間 平成24年10月1日～平成25年4月12日
- 配布部数 80,000部
- 回答数 3,040件 (回収率:3.8%)

### 2. 回答の回収状況

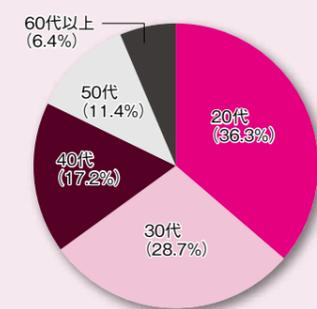
#### 地域別の回答数内訳

地域名	北海道	東北	北関東	東京	南関東	計
	112	203	478	260	343	3,040
	中部	近畿	中国	四国	九州	
	562	233	86	114	649	

#### 回答者と新郎・新婦の関係

新郎新婦との関係	回答数	新郎新婦との関係	回答数
兄弟姉妹	179	勤務先の部下	142
叔父・叔母	347	取引先関係	45
従兄弟・従姉妹	222	友人・その家族	1,204
その他親戚	102		
勤務先の上司	277		
勤務先の同僚	522	合計	3,040

回答者の年齢構成割合



# Ⅲ. 集計結果

## 1. 祝儀の平均額と、最多回答額

本調査は、挙式・披露宴に出席した方を対象としています。従って、ここで集計される祝儀金額は、お祝い金と披露宴でのお食事代ということになりますから、出席しない場合よりもその分高く算出されます。

右の表は、新郎新婦との関係ごとに祝儀の最多回答額と平均額をもとめたものです。表を見てわかるように、各関係ごとに見ても、兄弟姉妹、叔父叔母の関係に当たる場合を除き、3万円が最も多いようです。

披露宴の1人当たりの料理単価はだいたい1万円から2万円ですから、披露宴に出席した場合、3万円が相場と言うのも頷けます。また、会費制の披露宴であれば、1万円から2万円が相場と考えることが出来るでしょう。

次に勤務先関係の祝儀の平均額を見ると、勤務先の同僚や部下が贈る場合よりも、上司として贈る場合の方が高くなっています。勤務先においては、横の繋がりよりも上下の関係を重視する傾向があるのかもしれませんが、親戚関係は、高額な祝儀を贈るケースもあることから、平均額は全体的に高くなっているようです。

新郎新婦との関係	最多回答額	平均額
兄弟姉妹	50,000	54,676
叔父・叔母	50,000:100,000	72,711
従兄弟・従姉妹	30,000	39,434
その他の親戚	30,000	57,268
勤務先の上司	30,000	33,872
勤務先の同僚	30,000	28,424
勤務先の部下	30,000	28,925
取引先関係	30,000	28,333
友人	30,000	29,598
その他	30,000	89,280

※叔父・伯母の最多回答が50,000円と100,000円が同票でした。

### (1) 新郎新婦との関係別の祝儀(回答別割合)

祝儀の金額を決める大切な要素として、新郎新婦との親しさの度合い、お付き合いの深さがあります。新郎新婦との関係ごとに、その回答の構成割合を見ることによって祝儀の最多回答額だけではわからない実態や傾向を見ることが出来ます。

右の表は、平成24年度に実施された前回調査での祝儀の最多回答額と今回の調査により求められた最多回答額を、新郎新婦との関係別にまとめたものです。その結果、最多回答額はほとんど変わりませんでした。

ところが、祝儀金額の構成割合を見ると、関係によっては、全体に占める割合に変化が見られます。

次に挙げる円グラフは、新郎新婦との関係別に贈った祝儀金額の回答割合(%)を表したものです。そして、円グラフの下の棒グラフは、平成24年度に実施した前回調査での回答割合(%)と平成29年度に行った今回調査の結果を比較したものです。

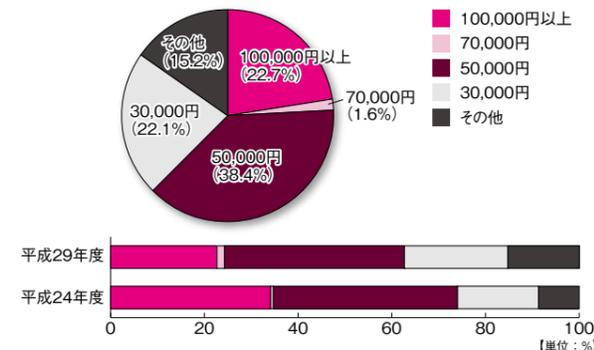
例えば、「兄弟姉妹」「叔父・叔母」「従兄弟・従姉妹」「その他の親戚」のように親戚関係の回答割合(%)を見ると、最多回答の占める割合はだいたい35%から40%台ですが、最多回答額と次に多い回答額との差は大きくありません。一方、それ以外、つまり「勤務先の上司」「勤務先の同僚」「勤務先の部下」「取引先関係」「友人」「その他」といった関係では、最多回答額はいずれも3万円が共通しており、その全体に占める割合がとても高くなっています。従って、祝儀の相場や傾向を考える上で、親戚関係とそれ以外の勤務先や友人などの関係とは分けて考えた方が良いでしょう。

親戚関係では、一律に相場の金額を贈るのではなく、関係の深さが金額を決定する上で、より重要となってきたのかも知れません。

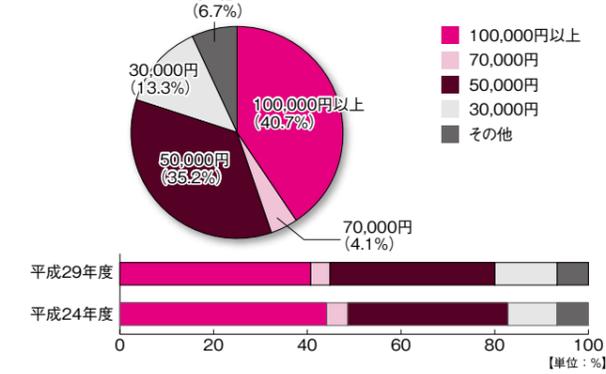
最多回答額の比較	前回調査	今回調査
兄弟姉妹	50,000	50,000
叔父・叔母	100,000	50,000:100,000
従兄弟・従姉妹	30,000	30,000
その他の親戚	30,000	30,000
勤務先の上司	30,000	30,000
勤務先の同僚	30,000	30,000
勤務先の部下	30,000	30,000
取引先関係	30,000	30,000
友人	30,000	30,000
その他	30,000	30,000

※叔父・伯母の最多回答が50,000円と100,000円が同票でした。

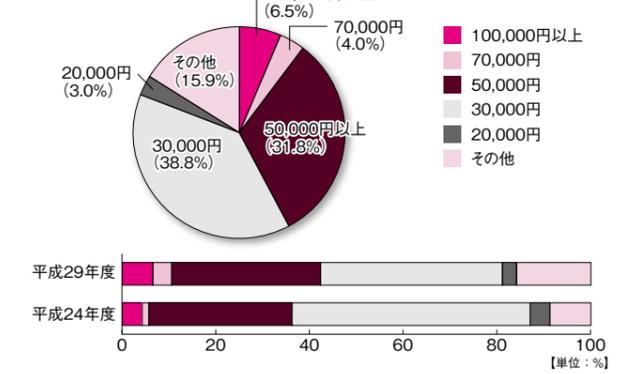
### ① 兄弟姉妹



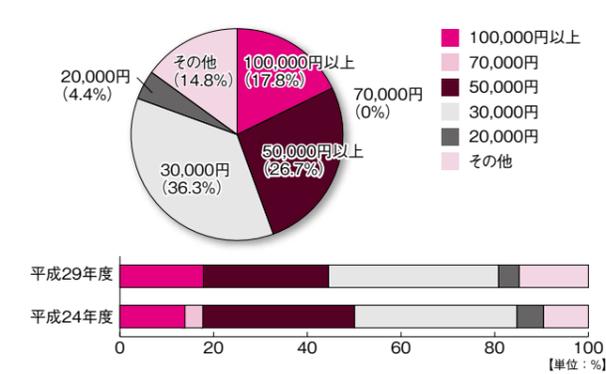
### ② 叔父・叔母



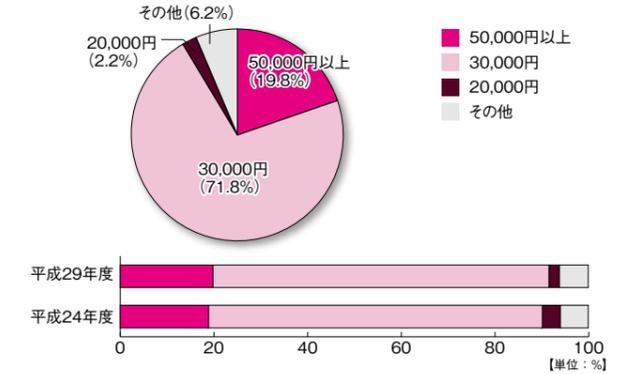
### ③ 従兄弟・従姉妹



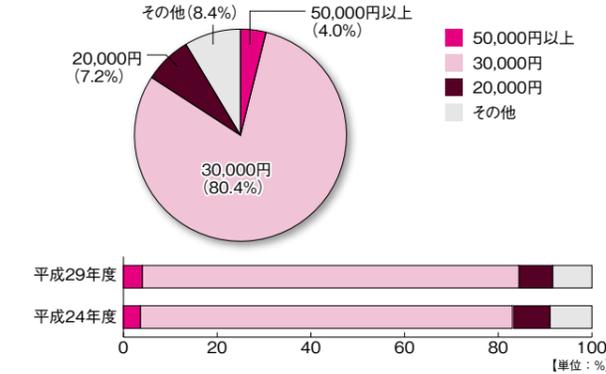
### ④ その他の親戚



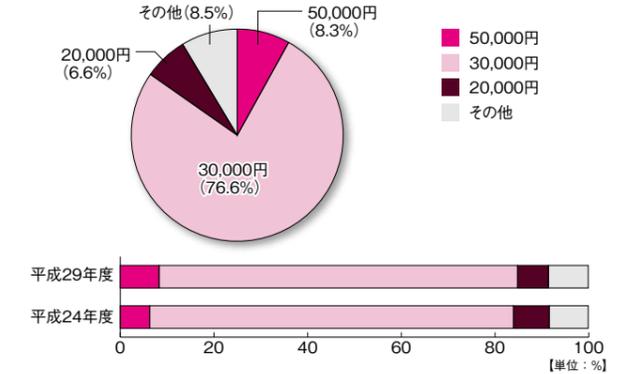
### ⑤ 勤務先の上司



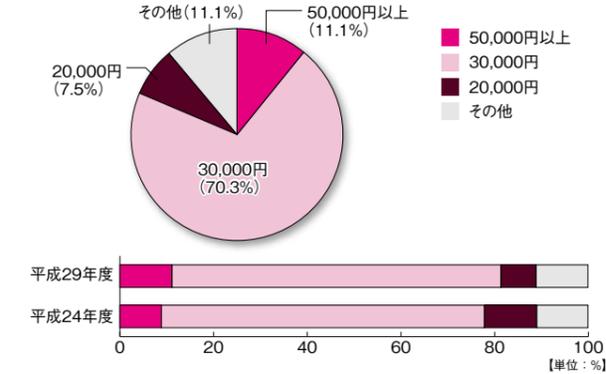
### ⑥ 勤務先の同僚



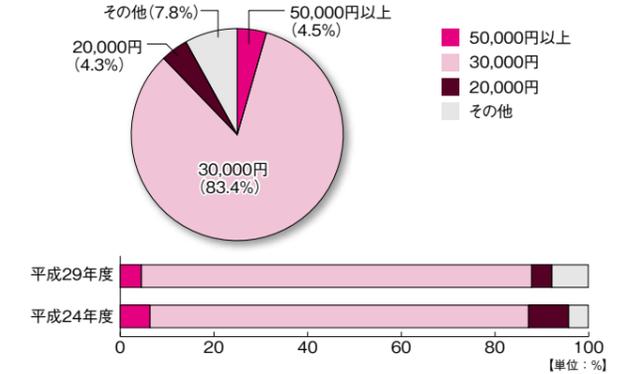
### ⑦ 勤務先の部下



### ⑧ 取引先関係



### ⑨ 友人

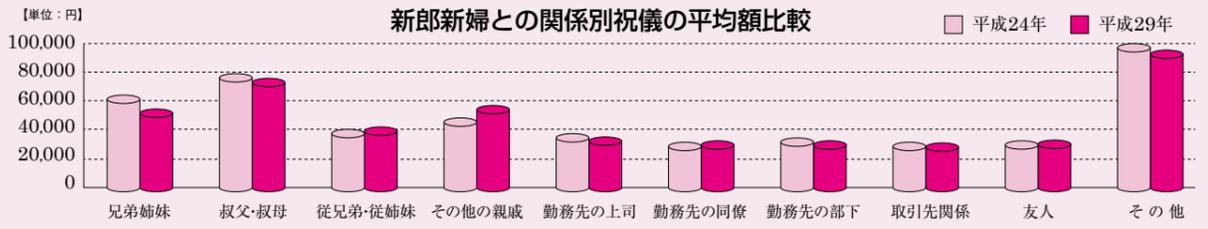


## ◎前回調査との祝儀平均額比較

新郎新婦との関係	平成24年	平成29年
兄弟姉妹	61,850	54,676
叔父・叔母	75,973	72,711
従兄弟・従姉妹	37,771	39,434
その他の親戚	45,286	57,268
勤務先の上司	34,749	33,872
勤務先の同僚	28,344	28,424
勤務先の部下	31,759	28,925
取引先関係	28,372	28,333
友人	29,161	29,598
その他	96,906	89,280

祝儀の平均金額について、前回の調査(平成24年度実施)と今回の調査(平成29年度実施)を比較すると、左の表及び下のグラフのとおりとなります。前述の新郎新婦との関係別回答割合を見てわかる通り、祝儀として贈る金額は3万円や5万円などいくつかのパターンに限られていますから、祝儀の平均金額は、新郎新婦との各関係を軸に地域や年代の格差を見たり、過去に実施された調査結果との比較において、上がったか或いは下がったかなど時系列的に見るのに有効でしょう。

平均金額は前回調査と比較して、「兄弟姉妹」「叔父・叔母」など近親者において減少傾向にあることがわかります。職場関係すなわち「勤務先の上司」「勤務先の同僚」「勤務先の部下」ではほとんど変わりはなく、「取引先関係」も殆ど変わりはありません。新郎新婦との関係の親密度によって、こうした差が見られているようです。



## (2)地域別に見た祝儀の最多回答額と平均額

下の表は、地域別に祝儀の最多回答額と平均額をまとめたものです。最多回答額も地域によって異なる場合がありますので、全国集計より正確な目安となるでしょう。

地域別に見ると、前回調査では、全国的に金額が近づきつつある傾向が見られました。今回も同様の傾向があるようです。ただし北海道では、勤務先や友人関係において平均額が低くなっていますが、これは会費制の披露宴が多いからでしょう。

	北海道		東北		北関東		東京		南関東	
	最多回答	平均額	最多回答	平均額	最多回答	平均額	最多回答	平均額	最多回答	平均額
兄弟姉妹	10,000:30,000	30,833	50,000	44,167	50,000:100,000	64,000	50,000	40,000	50,000	75,000
叔父・叔母	30,000	34,286	50,000	59,118	100,000	89,500	100,000	81,538	50,000	65,465
従兄弟・従姉妹	0	8,000	50,000	50,615	30,000	39,130	30,000	40,769	50,000	37,647
その他の親戚	30,000	32,684	30,000	45,556	50,000	42,500	50,000	32,500	30,000	56,875
勤務先の上司	0	11,583	30,000	31,818	30,000	33,704	50,000	42,222	30,000	33,529
勤務先の同僚	0	7,381	30,000	26,108	30,000	31,182	50,000	31,176	30,000	32,308
勤務先の部下	0	5,250	30,000	28,571	30,000	27,778	50,000	32,500	30,000	31,429
取引先関係	0	***	***	***	30,000	30,000	50,000	30,000	30,000	36,667
友人	10,000	11,397	30,000	27,457	30,000	30,390	50,000	31,644	30,000	28,956
その他	10,000	12,895	0	57,083	30,000	44,750	50,000	343,333	30,000	200,625

	中部		近畿		中国		四国		九州		全国
	最多回答	平均額	最多回答	平均額	最多回答	平均額	最多回答	平均額	最多回答	平均額	平均額
兄弟姉妹	50,000	60,000	30,000	52,340	50,000	36,000	0:100,000	50,000	50,000	61,463	51,380
叔父・叔母	100,000	88,919	100,000	81,205	100,000	83,158	100,000	91,429	50,000	65,745	74,036
従兄弟・従姉妹	30,000:50,000	37,500	30,000	38,750	30,000:50,000	40,500	30,000:50,000	30,000	30,000	46,170	36,908
その他の親戚	30,000:50,000	117,333	50,000	62,941	30,000	117,143	30,000	76,667	30,000	40,588	62,479
勤務先の上司	30,000	36,667	30,000	32,581	30,000	36,429	30,000	30,909	30,000	36,610	32,605
勤務先の同僚	30,000	29,861	30,000	30,444	30,000	30,909	30,000	29,565	30,000	28,462	27,740
勤務先の部下	30,000	31,333	30,000	26,923	30,000	30,000	30,000	28,750	30,000	30,811	27,335
取引先関係	50,000	43,333	10,000:30,000	17,500	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	27,143	30,580
友人	30,000	29,310	30,000	31,831	30,000	37,647	30,000	34,744	30,000	30,371	29,375
その他	30,000:50,000	20,769	30,000	95,000	30,000	27,778	30,000	213,000	30,000	102,439	111,767

※【その他】には親も含む場合があります。 ※北海道・兄弟姉妹の最多回答が30,000円と10,000円が同票でした。 ※北関東・兄弟姉妹の最多回答が100,000円と50,000円が同票でした。 ※中部の従兄弟・従姉妹の最多回答が50,000円と30,000円が同票でした。 ※中部のその他の親戚の最多回答が50,000円と30,000円が同票でした。 ※中部のその他の親戚の最多回答が50,000円と30,000円が同票でした。 ※近畿の取引先関係の最多回答が30,000円と10,000円が同票でした。 ※中国の従兄弟・従姉妹の最多回答が50,000円と30,000円が同票でした。 ※四国の兄弟姉妹の最多回答が0円と100,000円が同票でした。 ※四国の従兄弟・従姉妹の最多回答が50,000円と30,000円が同票でした。 注) 上記表中、「\*\*\*」は、該当するサンプルが得られなかったため、集計していません。

## ◎前回調査との祝儀平均額比較

新郎新婦との関係別に、各地域の祝儀の平均額をまとめると、下の表のとおりとなります。「平成24年」は前回調査での集計結果で、「平成29年」が今回調査の集計結果になります。前回調査では、中部・近畿地域が高くなる傾向が見られました。今回の調査における比較では、「北海道」の「従兄弟・従姉妹」及び勤務先との関係、つまり「勤務先の上司」「勤務先の同僚」「勤務先の部下」において他地域より平均額が低い傾向はあまり変わっていません。やはり会費制の披露宴が多いからでしょう。

	兄弟姉妹		叔父・叔母		従兄弟・従姉妹		その他の親戚		勤務先の上司	
	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年
北海道	26,667	30,833	68,571	34,286	33,333	8,000	50,000	32,684	10,000	11,583
東北	47,778	44,167	69,545	59,118	32,111	50,615	31,636	45,556	27,375	31,818
北関東	74,444	64,000	66,102	89,500	41,667	39,130	41,667	42,500	33,488	33,704
東京	56,000	40,000	70,625	81,538	46,667	40,769	57,500	32,500	33,333	42,222
南関東	51,429	75,000	70,556	65,465	34,348	37,647	63,636	56,875	38,750	33,529
中部	63,684	60,000	95,887	88,919	38,365	37,500	48,000	117,333	32,778	36,667
近畿	49,000	52,340	95,161	81,205	37,000	38,750	44,000	62,941	34,545	32,581
中国	55,000	36,000	70,000	83,158	43,333	40,500	***	117,143	72,000	36,429
四国	55,000	50,000	72,727	91,429	40,000	30,000	66,667	76,667	29,333	30,909
九州	71,961	61,463	66,364	65,745	35,349	46,170	30,667	40,588	33,983	36,610
全国	55,096	51,380	74,554	74,036	38,217	36,908	48,197	62,479	34,559	32,605

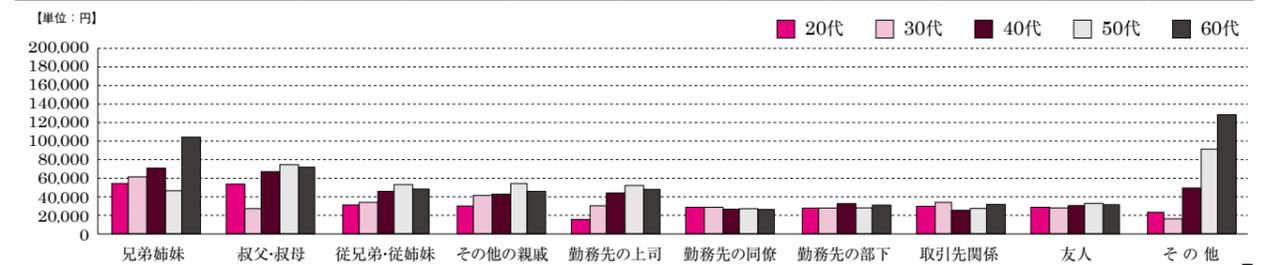
	勤務先の上司		勤務先の部下		取引先関係		友人・その家族		その他	
	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年
北海道	10,286	7,381	21,500	5,250	13,333	***	15,091	11,397	30,000	12,895
東北	21,524	26,108	31,154	28,571	20,000	***	25,205	27,457	36,300	57,083
北関東	31,475	31,182	32,273	27,778	35,000	30,000	29,365	30,390	30,625	44,750
東京	31,951	31,176	27,647	32,500	30,000	30,000	30,248	31,644	146,667	343,333
南関東	30,392	32,308	30,000	31,429	30,000	36,667	31,759	28,956	101,154	200,625
中部	30,797	29,861	38,000	31,333	36,667	43,333	29,883	29,310	204,583	20,769
近畿	29,097	30,444	44,286	26,923	31,818	17,500	29,375	31,831	40,000	95,000
中国	31,912	30,909	30,000	30,000	20,000	30,000	33,462	37,647	40,000	27,778
四国	28,636	29,565	23,333	28,750	***	30,000	30,455	34,744	238,000	213,000
九州	27,628	28,462	28,333	30,811	30,000	27,143	28,708	30,371	53,529	102,439
全国	27,370	27,740	30,653	27,335	27,424	30,580	28,355	29,375	92,086	111,767

注) 上記表中、「\*\*\*」は、該当するサンプルが得られなかったため、集計していません。

## (3)世代別に見た祝儀の最多回答額と平均額

下記の表は、各世代、新郎新婦との各関係別に祝儀の平均額と最多回答額を集計したものです。「兄弟姉妹」「叔父・叔母」では年代の上昇に伴い最多回答額も増えています。また、平均額を見ても、年齢が高くなると祝儀も高くなる傾向にあるようです。

	20代		30代		40代		50代		60代以上	
	最多回答	平均額	最多回答	平均額	最多回答	平均額	最多回答	平均額	最多回答	平均額
兄弟姉妹	50,000	37,857	50,000	60,132	50,000	70,294	50,000	45,000	100,000	102,500
叔父・叔母	50,000	57,500	50,000	27,500	50,000	62,432	100,000	75,122	100,000	73,248
従兄弟・従姉妹	30,000	34,441	30,000	36,017	50,000	42,596	50,000	52,667	50,000	47,143
その他の親戚	30,000	17,143	30,000	32,222	30,000	42,088	30,000	53,023	30,000	76,094
勤務先の上司	30,000	28,000	30,000	29,130	30,000	32,554	50,000	40,677	50,000	33,571
勤務先の同僚	30,000	29,021	30,000	29,038	30,000	27,396	30,000	27,643	30,000	27,083
勤務先の部下	30,000	27,730	30,000	27,600	30,000	32,424	30,000	26,563	30,000	28,889
取引先関係	30,000	30,000	30,000	36,667	30,000	23,750	30,000	28,333	30,000	34,000
友人	30,000	29,435	30,000	29,109	30,000	30,457	30,000	32,907	30,000	30,769
その他	30,000	22,222	30,000	17,500	30,000	49,762	30,000	93,706	30,000	123,261



## ◎前回調査との祝儀平均額比較

前回調査に比べ、20代は、「勤務先の上司」「勤務先の同僚」「勤務先の部下」の関係では3万円を下回る形で減少が見られます。30代以降になると、関係によって祝儀の金額が異なり、特に親戚関係が高くなる傾向は前回と変わっていないようです。

勤務先の関係では、勤務先の同僚や部下であった場合よりも、上司の方が概ね高くなる傾向が見られます。これは前回調査でも今回の調査でも共通した傾向のようです。

【単位：円】

	20代		30代		40代		50代		60代以上	
	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年	平成24年	平成29年
兄弟姉妹	54,276	37,857	61,150	60,132	75,263	70,294	80,000	45,000	73,333	102,500
叔父・叔母	50,000	57,500	66,250	27,500	64,500	62,432	84,301	75,122	74,800	73,248
従兄弟・従姉妹	31,308	34,441	40,104	36,017	38,298	42,596	47,778	52,667	44,000	47,143
その他の親戚	30,000	17,143	42,000	32,222	43,750	42,088	54,214	53,023	45,653	76,094
勤務先の上司	24,000	28,000	31,064	29,130	33,840	32,554	35,333	40,677	49,917	33,571
勤務先の同僚	29,580	29,021	28,868	29,038	26,573	27,396	24,242	27,643	26,533	27,083
勤務先の部下	26,143	27,730	30,556	27,600	32,222	32,424	31,000	26,563	59,556	28,889
取引先関係	20,000	30,000	30,667	36,667	28,571	23,750	27,778	28,333	23,333	34,000
友人・その家族	28,614	29,435	29,721	29,109	29,826	30,457	26,905	32,907	32,143	30,769
その他	29,286	22,222	28,842	17,500	35,476	49,762	117,556	93,706	182,000	123,261

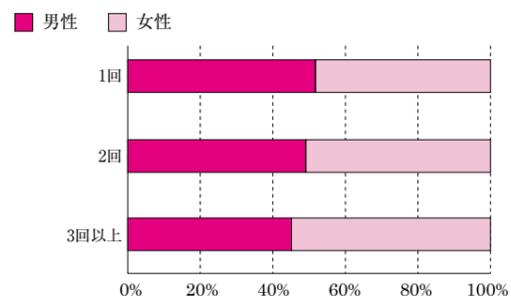
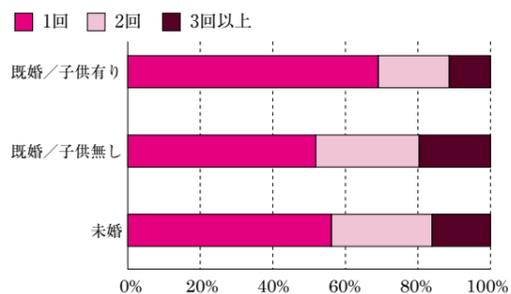
## 2.あなたは、この1年間で何回挙式もしくは披露宴に参列されましたか？

昨今、挙式・披露宴をあげる件数が減少している中で性別、年代、地域別にこの1年間で参列した回数を調べました。

この設問は、今回調査から新たに追加したのですが、今後回数を積み重ねていくことによって傾向が見いだせるものと思います。

【単位：人】

	既婚／子供有り	既婚／子供無し	未婚
1回	1,172	182	544
2回	332	100	269
3回以上	193	69	156



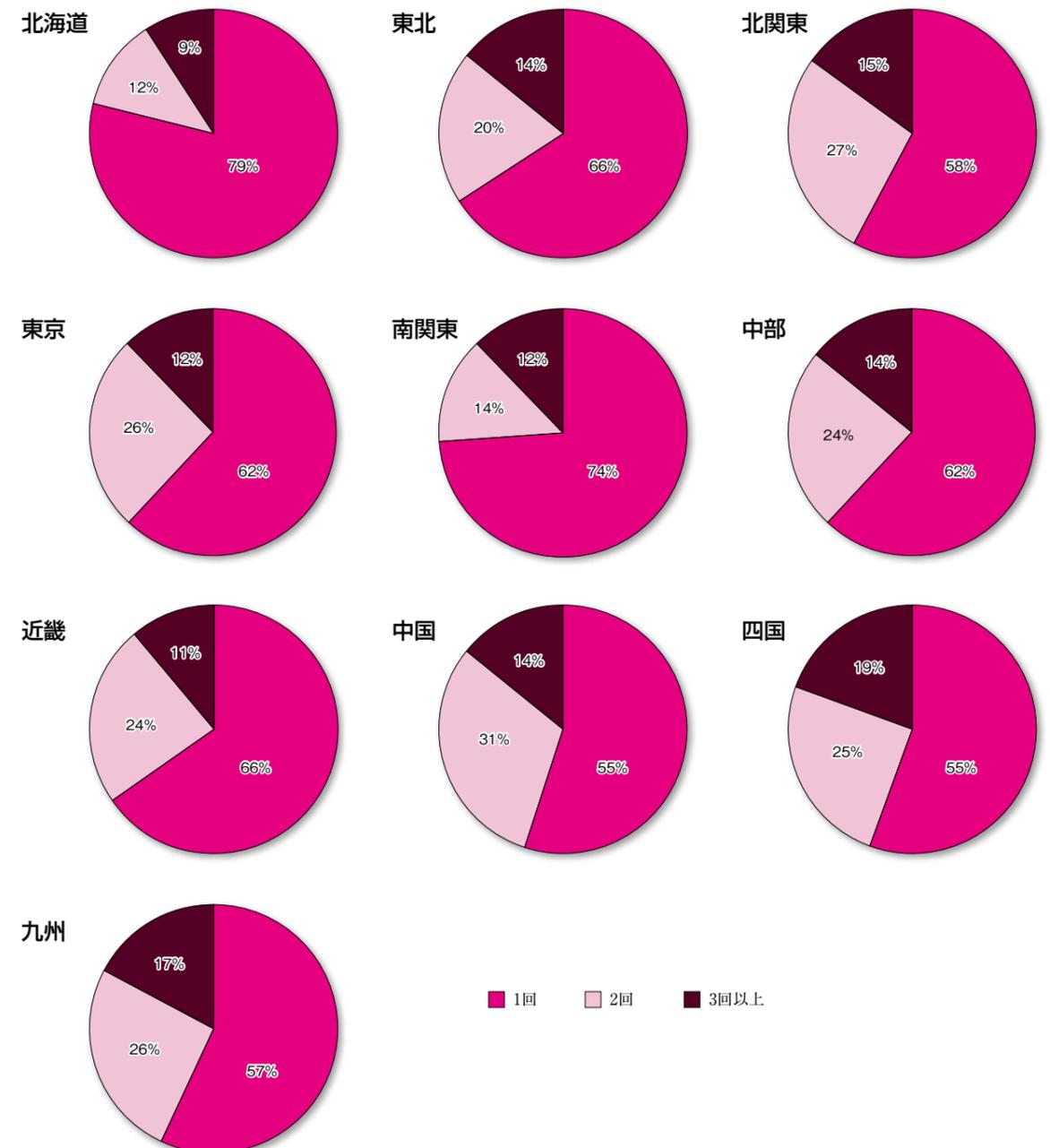
「既婚」、「未婚」問わず、この1年間で挙式もしくは披露宴に参列した回数は1回が多いという結果になりました。

昨今未婚率も増加傾向にあり、挙式もしくは披露宴も行う件数は減少傾向にあるのかもしれませんが、しかし、結婚という人生における大事な儀式文化を継承していくことの大切さを多くの方々に伝えていく必要があるようです。

男女比で見比べてみると参列した割合はほぼ差異はないという結果になっています。

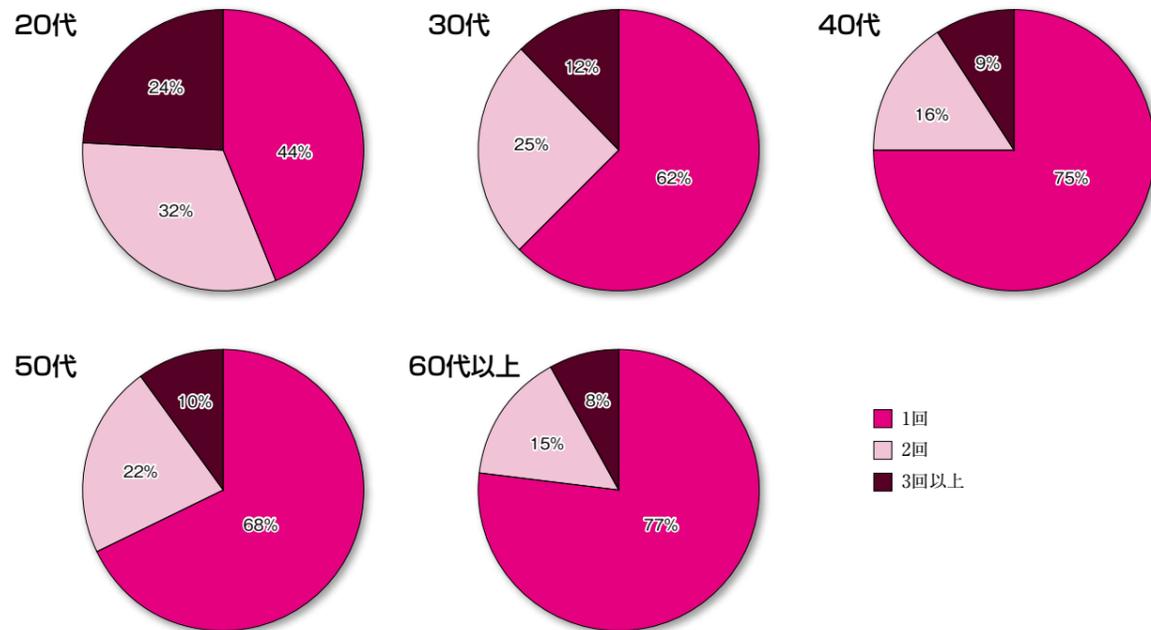
地域別に見ると参列回数が1回の回答は「北海道」、「南関東」が約8割弱から6割程度、また、2回の回答は「中国」、「北関東」、「東京」、「九州」が約3割弱、3回以上の回答が「四国」、「北関東」、「九州」が2割弱となっていますが、今回のアンケート結果のみから地域の特別な傾向があるかは見いだせませんでした。

	1回		2回		3回以上	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
北海道	146	79	22	12	17	9
東北	148	66	46	20	31	14
北関東	200	58	94	27	52	15
東京	89	62	37	26	17	12
南関東	250	74	48	14	39	12
中部	194	62	75	24	44	14
近畿	303	66	109	24	50	11
中国	82	55	46	31	20	14
四国	66	55	30	25	23	19
九州	420	57	194	26	125	17
全国	1898	63	701	23	418	14



年代別にみても20代は参列回数が2回、3回以上と参列している割合が多く、年代が上がっていくとほぼ参列回数に差がありません。

	1回		2回		3回以上	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
20代	344	44	245	32	188	24
30代	484	62	198	25	96	12
40代	390	75	81	16	47	9
50代	338	68	112	22	50	10
60代以上	342	77	65	15	37	8



### 3.あなたは六輝を気にしていますか？

六輝は、古代中国の陰陽五行説に基づく6つの日のことで、吉凶を定める基準と言われてます。今でも、よくカレンダーに「先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口」といった六輝が表記され、冠婚葬祭の日取りを決める際、参考にしたりします。そこで、現在どれくらいの方が六輝を意識しているのかを調べるため、今回の調査で新たに調査項目として六輝に関する設問を設けました。

集計の結果、「気にする」と答えた人が全体の36%、「余りにしない」と答えた人が49%、「全く気にしない」と答えた人が15%でした。

「気にしない」と「余りにしない」を合わせると、64%の方が六輝を気にしてないという結果になりました。

既婚者と未婚者を比較すると、左のグラフのとおり、既婚者の方が気にする人が多いようです。

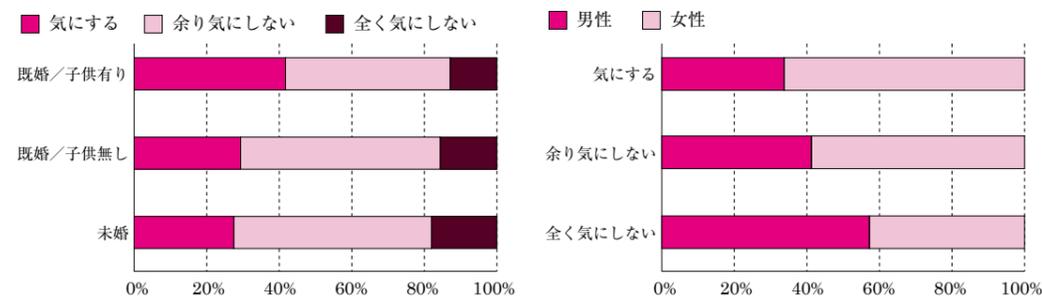
逆に未婚者になると、「気にしない」「あまり気にしない」の合計が73%となっており、気にしない傾向が強くなっています。

男女比較では「気にする」は男性が34%で、女性が66%でした。

女性の方が六輝を気にかけてる人が多いということがわかります。

【単位：人】

	既婚/ 子供有り	既婚/ 子供無し	未婚
気にする	708	103	266
余りにしない	770	193	528
全く気にしない	219	55	175

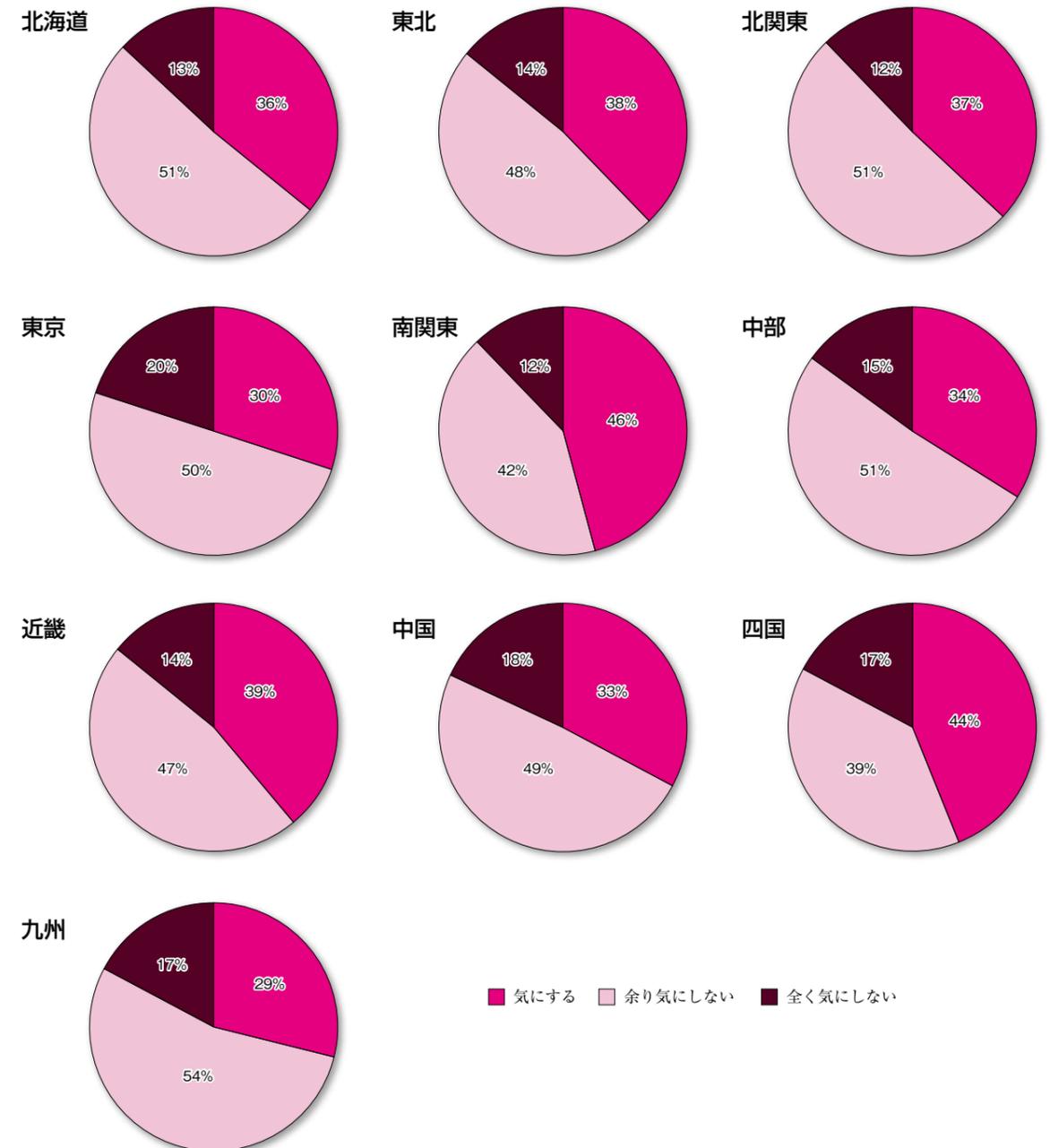


### (1)地域別回答と回答割合(%)

次に地域別に回答数及びその割合(%)をまとめると、次項の表のようになります。「気にする」が最も多かったのは、「南関東」「四国」で、最も少ないのは「九州」でした。

但し、いずれの地域も「余りにしない」が約40%~50%台と六輝に対して曖昧な意識の人が多くことから、今後、「気にする」、「気にしない」のどちらに傾倒するのか興味深いところです。

	気にする		余りにしない		全く気にしない	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
北海道	67	36	94	51	24	13
東北	86	38	108	48	31	14
北関東	127	37	177	51	42	12
東京	43	30	71	50	29	20
南関東	154	46	143	42	40	12
中部	105	34	160	51	48	15
近畿	182	39	217	47	63	14
中国	49	33	73	49	26	18
四国	52	44	47	39	20	17
九州	212	29	401	54	126	17



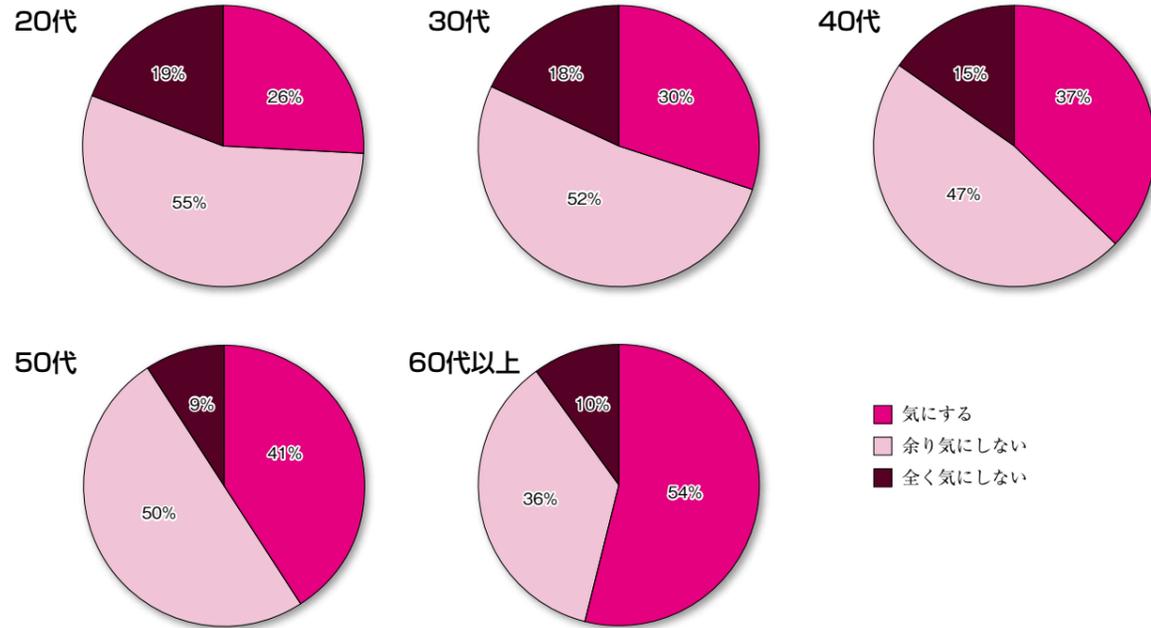
## (2) 世代別回答と回答割合(%)

回答を世代別に分けて収益すると右の表のとおりとなります。

一般的に結婚して新郎新婦となるのは、大体20代～30代が中心でしょう。そう考えると、50代～60代が親の世代ということになります。

下のグラフで各世代の回答割合を見ると、20代と30代、50代と60代で、それぞれ傾向が似ているのがわかります。いわゆる、親の世代(50代と60代)の方が子の世代(20代と30代)よりも気にする傾向が強く、その意識の違いがはっきりと出ているところが興味深いところです。

	気にする		余りにしない		全く気にしない	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
20代	203	26	427	55	147	19
30代	234	30	407	52	137	18
40代	194	37	246	47	78	15
50代	207	41	249	50	44	9
60代以上	239	54	162	36	43	10



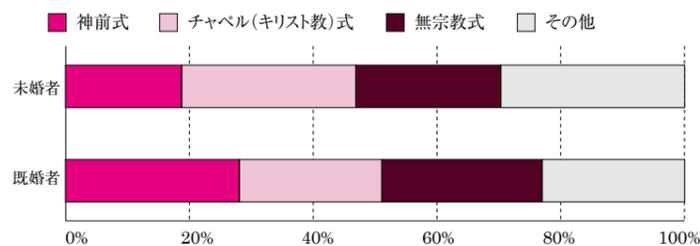
## 4. あなたが希望する挙式形態は？

挙式形態における趣向の変遷は、ブライダルの流れやトレンドを見るうえで大切な要素と考えられます。本調査では、披露宴に出席した者を対象に行ったものですので、未婚者に限らず既婚者にもご回答頂きました。従って、本調査では、年齢を見ても20代～60代以上まで幅広く、未婚者の場合は挙式をするとした時の希望挙式形態、既婚者の場合は自分の子供に望む挙式形態又は参列者として出てみたい挙式形態ということになると考えられます。

従って、本調査項目では、既婚者と未婚者を分けて別々に集計するものとします。

右上の表を見てわかるように、未婚者と既婚者では、希望する挙式形態が異なるのがわかります。既婚者のほうが神前式に関心があるようです。また無宗教式が増加してきたことがわかります。

	男性		女性		計	
	未婚者	既婚者	未婚者	既婚者	未婚者	既婚者
神前式	8	37	15	40	12	39
チャペル(キリスト教)式	13	26	23	38	18	32
無宗教式	11	33	19	38	15	36
その他	12	27	25	36	19	32



## (1) 地域別回答割合(%)

地域別に回答を見ると、未婚者の場合、どの地域もチャペル式が全体に占める割合が高く、特に「北海道」「北関東」「東京」「南関東」「近畿」「九州」では60%を超えており、「東京」「中部」でも同様に高い数字となっています。

既婚者の場合、やはりチャペル式の割合がどの地域においても高くなってきているものの、未婚者に比べれば低くなってきている地域が多くなっています。「東北」では神前式の割合が、チャペル式にかなり近いものになっていることがわかります。

どうやら未婚者に比べると、既婚者の回答は特定の挙式形態に傾倒していない傾向があると言えそうです。

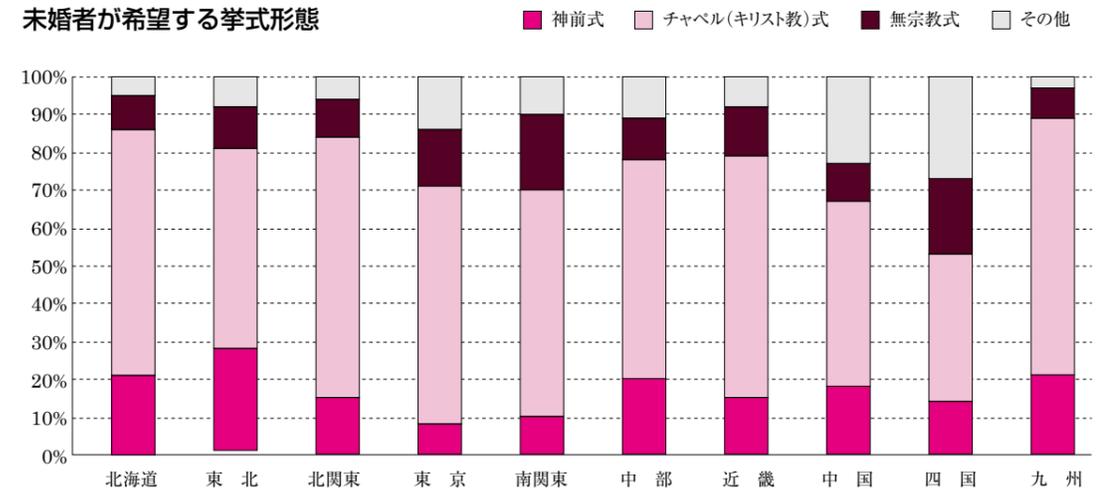
## 未婚者の回答割合(%)

	神前式	チャペル式	無宗教式	その他
北海道	21	65	9	5
東北	27	53	11	8
北関東	15	69	10	6
東京	8	63	15	14
南関東	10	60	20	10
中部	20	58	11	11
近畿	15	64	13	8
中国	18	49	10	23
四国	14	39	20	27
九州	21	68	8	3

## 既婚者の回答割合(%)

	神前式	チャペル式	無宗教式	その他
北海道	22	57	10	11
東北	39	38	16	7
北関東	25	59	10	6
東京	26	54	16	4
南関東	31	43	19	7
中部	25	51	17	6
近畿	20	56	14	10
中国	23	55	19	3
四国	32	45	16	7
九州	31	54	8	7

## 未婚者が希望する挙式形態



## 既婚者が希望する挙式形態

